

福島第一原子力発電所構内の線量状況について

2019/10/31

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 概要

福島第一原子力発電所構内の作業環境を改善するために、多くの作業員が働くエリアから、順次、表土除去、天地返し、遮へい等による線量低減を実施した。

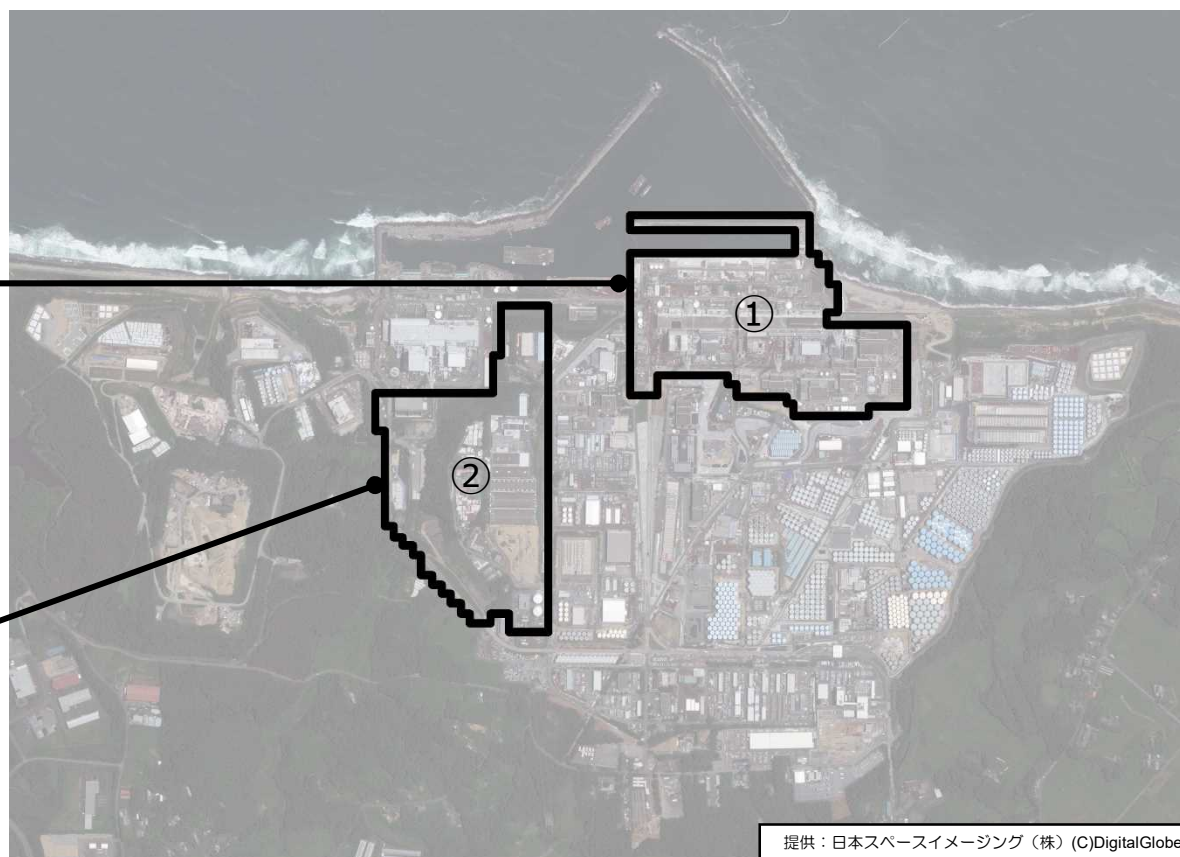
これまで線量低減を終えたエリアについて、定期的に線量状況を確認しており、今回（2019年度上半期）、以下のエリアについて線量状況を確認した。

線量測定箇所①

1～4号機周辺
(2019.6月 測定)
※前回, 2019.2月測定

線量測定箇所②

固体廃棄物貯蔵庫周辺
(2019.5月 測定)
※前回, 2017.10月測定



2. 1～4号機周辺[線量測定箇所①]の線量低減状況及び線量分布

1～4号機周辺の平均線量率は、下表に示す工事等の進捗により2.5m盤及び8.5m盤ともに、前回測定値と同程度の線量率を示している。

■ 平均線量率 < 2.5m盤 >

単位：[μSv/h]

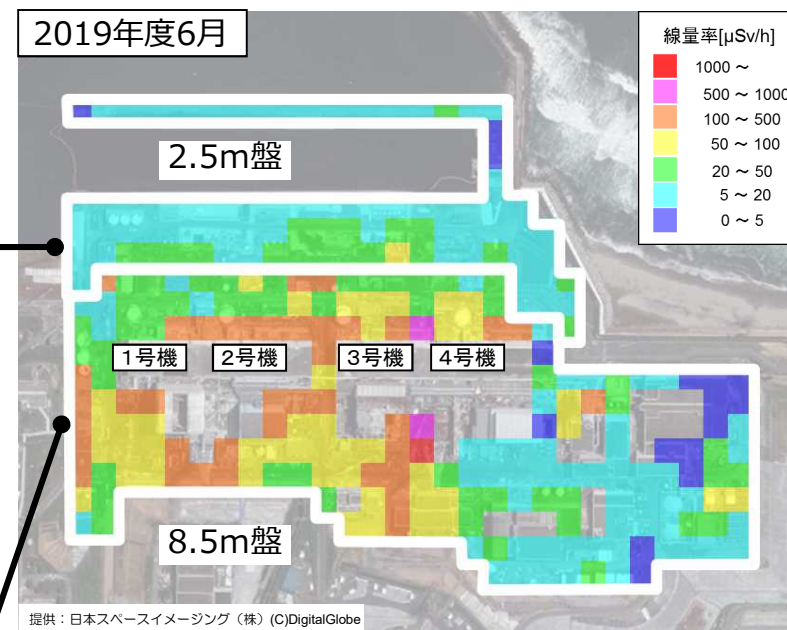
	胸元高さ	地表面 (コリメト)	線量低減に寄与した 主な工事
2016年度 (2017.2)	27	6.9	・フェーシング工事(2015年度～) ・循環水ポンプ周辺の瓦礫撤去等(2015年度～) ・3号機原子炉建屋オペフロ遮へい設置及び燃料取扱設備の設置(2016年度～2017年度)
2017年度 (2018.2)	20	4.5	
2018年度 (2019.2)	17	3.6	
2019年度 (2019.6)	<u>16</u>	<u>3.3</u>	

< 8.5m盤 >

単位：[μSv/h]

	胸元高さ	地表面 (コリメト)	線量低減に寄与した 主な工事
2016年度 (2017.3)	205	97	・凍土壁工事(2013年度～2017年度) ・1～4号機山側法面の除染、フェーシング(2014年度～2016年度) ・3号機原子炉建屋オペフロ遮へい設置及び燃料取扱設備の設置(2016年度～2017年度) ・タービン建屋東側の環境整備(2017年度～2019年度) ・3号機逆洗弁ピット周辺のフェーシング(2018年度～2019年度)
2017年度 (2018.2)	140	61	
2018年度 (2019.2)	122	41	
2019年度 (2019.6)	<u>115</u>	<u>37</u>	

■ 線量分布 (30mメッシュ：胸元高さ)



※1 胸元高さ：地表から1.5m高さ

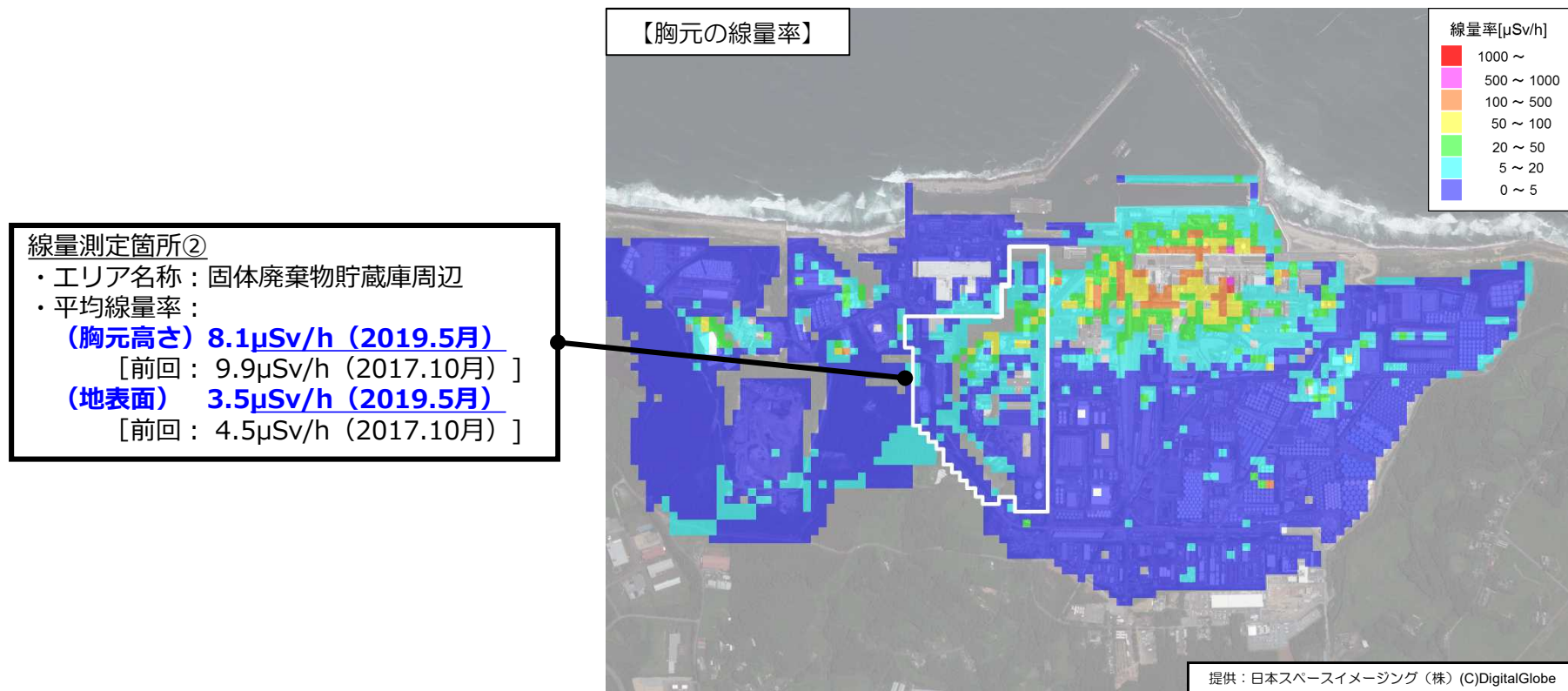
※2 地表面(コリメト)：プラントからの散乱線等の影響がある場所について、線量低減効果を確認するため、地表面(地表面から1cm程度)をコリメートして測定。

3. 1～4号機周辺以外（線量測定箇所②）の線量状況及び構内全域の線量分布

- 固体廃棄物貯蔵庫周辺（線量測定箇所②）は、貯蔵庫周辺の木の伐採および移動により、線量率が下がっている。

（胸元高さ：9.9→8.1μSv/h）

2019年9月現在



4. 構内主要道路の線量状況 – 構内主要道路の走行サーベイ結果 –

構内主要道路の線量分布は、年々、低線量側にシフトしている。

<2017年度 第2四半期> (2017.9 測定) → <2018年度 第2四半期> (2018.8 測定) → <2019年度 第2四半期> (2019.8 測定)

